

No. 1619

# 政治改革に全力

## ——第2次海部内閣——

第118国会が2月27日召集され衆・参両院で首相指名選挙の結果、自民党総裁の海部首相が指名されました。海部首相は直ちに首相官邸に入り新任の坂本官房長官や小沢幹事長、西岡総務会長、加藤政調会長の党三役などを呼び閣僚人事に着手しました。

ロッキード事件で有罪判決をうけた佐藤孝行氏の入閣をめぐる話がこじれ組閣作業は大幅に遅れました。

結局、橋本大蔵、中山外務両大臣が再任された以外新聞僚はいずれも各派閥の幹部クラスが入閣、女性大臣は見送られました。

28日初閣議のあとひな段での記念撮影にのぞむ閣僚たち。最大の課題として「政治改革にとりくむ」方針の第2次海部内閣に注目したいものです。

# 構造協議が焦点に

## ——日米首脳会談——

海部首相は3月2日、日米首脳会談を行うためアメリカ・カリフォルニア州パームスプリング飛行場に到着。

出迎いのブッシュ大統領と歓迎的に臨み閱兵。

午後から開かれたモーニングサイド・カントリークラブでの首脳会談、全体会議では日米両国が東欧支援、中南米援助などでさらに政策を推進することで合意。日米間の最大の懸案である日米構造協議に対して、両首脳が協議促進のため真剣に取り組むことを確認し合いました。さらにブッシュ大統領は海部首相の政治的指示を求め四月の中間報告が意味のある報告となる様に要請しました。

会談後、緊張をほぐすためかホテルのプールで泳ぐ海部首相。帰国と同時にこの経済摩擦解消という大きな課題を乗り越えられるかどうかその指導力が問われることになりそうです。